



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 東和薬品株式会社

コード番号 4553 URL <http://www.towavakuhin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉田逸郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長

(氏名) 西川義明

TEL 06-6900-9101

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	28,559	6.8	3,119	△28.6	3,140	△25.7	2,019	△25.5
25年3月期第2四半期	26,742	16.0	4,368	△6.2	4,228	△11.2	2,710	△7.0

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 2,069百万円 (△24.5%) 25年3月期第2四半期 2,741百万円 (△5.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	118.85	—
25年3月期第2四半期	159.51	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	88,358		56,837		64.3
25年3月期	89,705		55,610		62.0

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 56,837百万円 25年3月期 55,610百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00
26年3月期	—	37.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	37.50	75.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,800	10.1	7,800	1.0	7,850	△17.8	5,200	△16.1	305.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	17,172,000 株	25年3月期	17,172,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	176,720 株	25年3月期	176,689 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	16,995,302 株	25年3月期2Q	16,995,331 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費者マインドが改善するもとの、個人消費が引き続き底堅く推移していることに加え、公共投資や住宅投資などが増加しており、緩やかに持ち直しつつあります。しかしながら、景気回復に向けた足どりはいまだ不確かな状況であり、平成26年4月に実施される消費増税が及ぼす影響も不透明な状況であります。

医療用医薬品業界では、平成25年度は診療報酬改定もなく、平成24年4月に実施された後発医薬品調剤体制加算の再見直しの影響もほぼ一巡したため、ジェネリック医薬品市場の拡大にも一服感があります。

このような中、平成25年4月5日に、厚生労働省から、“平成30年3月末までに60%以上”という新たな後発医薬品の数量シェア目標を含む「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」が発表されました。今後、新たな目標に向けて、政府の新たな促進策が打ち出されるとともに、当社などジェネリック医薬品メーカーには、さらなる「安定供給」「品質に対する信頼性の確保」「情報提供」が求められることとなります。

これに対し、当社は引き続き、中期経営計画（平成23年4月～平成26年3月）の課題である「東和式直販体制の確立」「製品総合力 No. 1の製品づくり」「安定供給体制の向上」に取り組みを進めております。

当第2四半期連結累計期間の売上につきましては、得意先別では、引き続き保険薬局向けの売上が全体の約60%を占めており、品目別では、アムロジピンやランソプラゾールなど、製剤付加価値の高い製品を中心に売上が順調に推移しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、28,559百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

コスト面では、山形工場の減価償却費の増加などにより、原価率が上昇しました。また、付加価値製剤などを含む開発品目の増加に伴う研究開発費の増加などにより、販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は3,119百万円（同28.6%減）、経常利益は3,140百万円（同25.7%減）、四半期純利益は2,019百万円（同25.5%減）と減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、88,358百万円となり、前連結会計年度末比1,347百万円の減少となりました。そのおもな減少要因は、有価証券の減少2,000百万円、現金及び預金の減少835百万円、投資その他の資産の減少775百万円などです。

負債につきましては、31,520百万円となり、前連結会計年度末比2,574百万円の減少となりました。そのおもな減少要因は、その他の流動負債の減少976百万円、未払法人税等の減少955百万円、長期借入金の減少825百万円などです。

純資産につきましては、56,837百万円となり、前連結会計年度末比1,227百万円の増加となりました。そのおもな要因は、利益剰余金の増加1,177百万円です。

その結果、自己資本比率は64.3%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較し1,835百万円減少し、2,150百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益3,025百万円等の収入がありましたが、法人税等の支払額1,526百万円、たな卸資産の増加887百万円等の支出があったため、差引2,650百万円の収入（前年同期比1,844百万円の収入減）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出4,825百万円等がありましたが、有価証券の売却による収入2,000百万円等があったため、差引3,889百万円の支出（同6,938百万円の支出減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出1,475百万円、配当金の支払額637百万円等の支出がありましたが、長期借入れによる収入750百万円、短期借入金の増加額650百万円等の収入があったため、差引715百万円の支出(同5,439百万円の支出増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は、平成25年5月14日に公表した計画を、売上、利益とも上回るペースで推移しておりますが、売上は計画から微増にとどまっており、通期でもほぼ当初計画水準となる見込みであります。また、利益の上ぶれも販売管理費の上期から下期への時期ずれが主要因であり、通期での利益も当初計画どおりとなる見込みであります。

したがって、平成26年3月期の連結業績予想(通期)は修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。

なお、大地化成(株)については重要性が増したため、第1四半期連結累計期間より、新たに連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,485	2,650
受取手形及び売掛金	17,217	16,654
有価証券	3,000	1,000
商品及び製品	10,450	11,459
仕掛品	3,925	3,864
原材料及び貯蔵品	5,295	5,273
その他	3,764	3,516
貸倒引当金	△89	△184
流動資産合計	47,049	44,235
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,271	20,849
機械装置及び運搬具(純額)	8,388	8,734
土地	6,694	7,249
建設仮勘定	724	2,472
その他(純額)	918	903
有形固定資産合計	37,997	40,208
無形固定資産	768	798
投資その他の資産		
投資有価証券	2,108	2,179
その他	1,870	941
貸倒引当金	△88	△5
投資その他の資産合計	3,890	3,115
固定資産合計	42,656	44,122
資産合計	89,705	88,358

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,482	6,960
短期借入金	400	1,050
1年内返済予定の長期借入金	2,825	2,925
未払法人税等	1,667	711
引当金	74	52
その他	7,069	6,093
流動負債合計	19,519	17,793
固定負債		
長期借入金	12,908	12,083
引当金	156	145
その他	1,510	1,497
固定負債合計	14,575	13,726
負債合計	34,095	31,520
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,717	4,717
資本剰余金	7,870	7,870
利益剰余金	43,536	44,713
自己株式	△638	△639
株主資本合計	55,485	56,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124	174
その他の包括利益累計額合計	124	174
純資産合計	55,610	56,837
負債純資産合計	89,705	88,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	26,742	28,559
売上原価	12,747	14,478
売上総利益	13,995	14,080
販売費及び一般管理費	9,626	10,961
営業利益	4,368	3,119
営業外収益		
受取利息	19	19
受取配当金	2	2
技術指導料	21	28
為替差益	—	73
有価証券評価益	15	11
貸倒引当金戻入額	52	88
補助金収入	100	—
その他	92	98
営業外収益合計	302	321
営業外費用		
支払利息	49	55
有価証券売却損	96	—
為替差損	14	—
スワップ評価損	231	207
その他	49	37
営業外費用合計	442	300
経常利益	4,228	3,140
特別利益		
投資有価証券売却益	6	—
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産処分損	12	47
投資有価証券評価損	40	—
工場用地移転損失	—	68
特別損失合計	52	115
税金等調整前四半期純利益	4,182	3,025
法人税等	1,471	1,005
少数株主損益調整前四半期純利益	2,710	2,019
四半期純利益	2,710	2,019



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,710	2,019
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	30	49
その他の包括利益合計	30	49
四半期包括利益	2,741	2,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,741	2,069
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,182	3,025
減価償却費	1,998	2,557
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△42	12
その他の引当金の増減額(△は減少)	83	69
固定資産売却損益(△は益)	—	△0
固定資産処分損益(△は益)	12	47
受取利息及び受取配当金	△21	△21
支払利息	49	55
スワップ評価損益(△は益)	231	207
有価証券評価損益(△は益)	25	△11
有価証券売却損益(△は益)	89	—
売上債権の増減額(△は増加)	388	561
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,566	△887
仕入債務の増減額(△は減少)	452	△495
その他	193	△910
小計	6,075	4,209
利息及び配当金の受取額	21	21
利息の支払額	△51	△53
法人税等の支払額	△1,649	△1,526
補助金の受取額	100	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,495	2,650
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,500	△500
定期預金の払戻による収入	2,500	500
有価証券の取得による支出	△3,000	△1,000
有価証券の売却による収入	—	2,000
有形固定資産の取得による支出	△7,198	△4,825
投資有価証券の取得による支出	△294	—
投資有価証券の売却による収入	303	—
貸付けによる支出	△490	—
貸付金の回収による収入	3	83
その他	△151	△147
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,827	△3,889
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	650
長期借入金の返済による支出	△1,178	△1,475
長期借入れによる収入	6,500	750
配当金の支払額	△594	△637
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,723	△715
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	53
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,640	△1,900
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	65
現金及び現金同等物の期首残高	3,798	3,985
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,158	2,150

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループ（当社及び連結子会社）は、医薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。